



# 山梨県忍野村へ行こう!



昭和39年に杉並区の小学校の校外施設「富士学園」を忍野村忍草に設置し、以来多くの児童が豊かな自然環境の中で移動教室を行っており、又、平成14年には施設は民営化されていますが、移動教室がない時は、区民などの利用に供され、多くの杉並区民にも親しまれております。杉並区は平成24年8月に「災害時相互援助協定」を締結、忍野村とのさまざまな交流を続けておりますが、今回は自然豊かな忍野村の概略を紹介します。



**【プロフィール】** 山梨県の東南部にある忍野村は、南に富士山、東に石割山といった山々に囲まれた標高936メートルの高原にある村で、総面積25.15平方キロメートルの広さに、9,236人(平成26年2月28日現在)が住んでいます。富士山の麓にある高原の村であるため、米づくりのほかにも高原野菜の栽培が盛んで各地に送られています。

**【自然】** 忍野村の魅力はなんと言っても自然の美しさにあります。村内には山中湖から流れ出る桂川とその支流に新名庄川があり、忍野八海(下記)にみられるように湧水が豊富で水質もよく、水量・水温も安定しています。さらに、富士山を配した美しい景色、大陸性のさわやかな気候、動植物の豊かな生態など自然の魅力が溢れた村です。忍

野村から見る富士山は、最も美しいといわれています。

**\*忍野八海** 国の天然記念物に指定されている8カ所の湧水池があり、「忍野八海」と呼ばれています。一帯は昔は湖の底にありましたが、延暦19年(800年)の富士山大噴火により湖は分断されて水が枯れ、湧水口だけが残ったものです。富士山の伏流水に水源を発生し、富士山域を背景とした風致の優れた水景を保有しており、世界文化遺産「富士山」の構成資産の一部として認定されています。

**【アクセス】** 東京から100km圏内にあり、新宿からは電車(JR線・富士急行線・バスの乗り継ぎ)又は中央高速バスの利用で、又、車の場合は東名高速道路又は中央自動車道の利用で忍野村へは行けます。(詳細は忍野村のHPなどで確認ください)

**【最後に】** 忍野村の魅力は上記以外にも西暦807年に創建された忍草浅間神社をはじめとした古代から続く歴史・文化の営みを感じさせる史跡も多くあり、釣好きには桂川はフライフィッシングの聖地とも言われております。暖くなるこれからの季節、豊かな自然と思わぬ発見を求めて忍野村に出かけてみませんか。(広報部 Ka)

問合せ：忍野村役場 観光産業課  
Tel：0555-84-7794 Fax：0555-84-3717  
HP：http://www.vill.oshino.lg.jp

## コミュかるショップ新商品!!

杉並区の交流自治体のひとつ山梨県忍野村の商品の取扱いをはじめました!! 世界文化遺産「富士山」関連商品や富士山の水を使ったそば、山梨名産ほうとうなど。



富士山ケーキ(250円) ポストカード(12枚入り300円) 半生ほうとう(350円)・半生そば(500円)

区役所1階のコミュかるショップにて販売しております。

【営業時間】月～金 9:00～16:30  
【問合せ】杉並区役所  
Tel：03-3312-2111(代表)

## Event Information from SACE 交流イベント情報

### 国内交流自治体関連のイベント

- 小千谷フェア  
新潟県小千谷市の特産品販売  
◇日時：4月27日(日) 11:00～13:30  
◇場所：小千谷学生寮駐車場
- 小千谷ふるさと市場  
新潟県小千谷市の特産品販売  
◇日時：5月19日(月) 10:00～14:00  
◇場所：区役所中杉通り側入口前

- 北塩原村観光物産展  
福島県北塩原村の新鮮野菜をはじめ山塩や花豆などの特産品販売  
◇日時：5月28日(水)・29日(木) 10:00～15:00  
◇場所：区役所中杉通り側入口前
- 名寄市アスパラまつり・写真展  
北海道名産のグリーンアスパラの販売と風景写真の展示  
◇日時：6月3日(火)～5日(木) 10:00～15:00  
◇場所：区役所中杉通り側入口前 および区役所1階ロビー

- 南伊豆町観光展  
静岡県南伊豆町の特産品販売と写真展示  
◇日時：6月23日(月) 11:00～14:30  
◇場所：区役所中杉通り側入口前 および区役所1階ロビー
- ※いずれも雨天実施。物産販売は売切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。

「交流ニュース」へのご意見・ご要望・メッセージなどをお寄せください。お待ちしております。



## 交流協会の会員になりませんか?

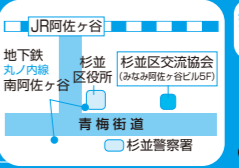
杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

- 年会費**  
・個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円)  
・法人会員 20,000円/年
- 会員期間**  
入会の月から3月31日まで(当年度末)
- 会員特典**  
① イベントの情報や交流に関する情報紙「交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など」をお届けします。  
② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。  
③ イベント参加費に会員割引があります。
- 申込方法**  
入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。

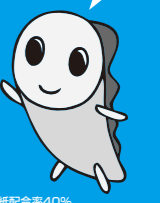
# すぎなみ交流ニュース

第32号  
2014年4月

Suginami Cultural Exchange News  
수기나미 교류 소식  
杉並的交流消息



会員になりませんか?  
～詳細は裏表紙～



◆発行:杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]  
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階 [Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]  
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org  
http://www.suginami-kouryu.org/

◆年4回発行◆協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。 R40 この印刷物は古紙配合率40%の再生紙を使用しています。

## 「人と人、地域と地域をつなぐ」

----- 2014年度 杉並区交流協会の活動方針と事業予定 -----

杉並区交流協会は、区の交流事業の新たな展開や、6年後の東京オリンピックの実施という環境の変化を踏まえ、これらと整合性を持った事業を展開します。昨年確立した「人と人、地域と地域をつなぐ杉並区交流協会」の理念のもとに、3つの柱<①在住外国人の支援 ②国内外の自治体交流の推進 ③多文化共生社会の相互理解の向上>に沿って、下記の事業を展開します。

### 2014年度の主な事業予定

5月	ウェルカムパーティー (外国人と日本人が共に生活していくために必要なことを学び交流を深めるイベント)
7月	新潟県小千谷市復興記念交流ツアー (中越地震10周年にあたり、小千谷市民との交流と日本フィルのコンサート)
9月	まるごと台湾フェア
10月	交流自治体中学生親善野球交流 (今年は台湾チームが来日予定)
11月	すぎなみフェスタ/交流自治体フォーラム
1月	外国人のための無料専門家相談会
3月	日本語スピーチ大会
その他	語学ボランティア講座【新規】 (東京オリンピック・災害対策等を考慮した、語学ボランティア活動についての研修会) 日本文化の紹介、外国語入門講座、異文化理解講座などを実施予定 【時期未定】

- ◆外国人サポートデスク【毎週月・金曜日】  
外国人の方の区役所での手続きなどを知識豊富なボランティアがサポート
- ◆日本語教室  
区内で活動する団体と協力し、外国人のための日本語教室を実施
- ◆レターフレンド  
区内在住の外国人の方へイベント情報や区内の便利な情報を毎月1回無料で送付
- ◆コミュかるショップの運営  
「区内で一番“すぎなみ”が集まる場所」として、“すぎなみ”のご当地商品やなみすけグッズなどの区の関連品、交流自治体の商品などを区役所1階で販売



## Welcome Party 2014 募集!

参加者 募集!  
主催/杉並区交流協会  
区内で生活する外国人と日本人の交流を深めましょう! 5月17日(土)

当日は、レクリエーションを楽しみ、そして交通安全指導、消火訓練、煙避難訓練に参加したり、また、非常持出グッズやごみの分別ルールを知ることができます。参加者みんなで作った防災米(アルファ米)のおにぎりの昼食も囲みながら、楽しい一日を過ごしましょう!

- 【日時】 2014年5月17日(土) 10:30～15:00(雨天実施)
- 【場所】 杉並区立杉並第一小学校(杉並区阿佐谷北1-5-27)  
JR 総武線 阿佐ヶ谷駅徒歩2分
- 【定員】 外国人50名・日本人50名(先着順)
- 【費用】 100円(保険料として)
- 【申し込み】 杉並区交流協会まで、電話、ハガキ、E-mailまたはFaxで、①氏名(ふりがな) ②国籍 ③年齢 ④住所 ⑤電話番号 お持ちの方はFax番号を書いて、お申し込みください。
- 【問合せ】 杉並区交流協会 Tel 03-5378-8833







# 第11回 日本語スピーチ大会

2014年3月1日(土) [於]座・高円寺 主催 杉並区交流協会 共催 杉並区・東京杉並ロータリークラブ

## Japanese Speech Contest

今回の日本語スピーチ大会は、会場を座・高円寺に移し、発表者には、スピーチ大会参加者の他に、杉並区と姉妹都市のオーストラリア・ウィロビー市への海外留学生(杉並区中学生)と阿佐ヶ谷のエベレスト・インターナショナル・スクール・ジャパンのネパール人小学生も加わり、杉並ならではの企画で開催されました。

当日は雨でしたが観覧者約150名を前に、スピーチ大会参加者の8カ国10名が、5分程度で日本に来て感じたこと母国との違いなどを熱くユーモアを交えスピーチ。そして、杉並区の3人の中学生の留学体験、ネパールの2人の小学生の日本での生活のスピーチが行われました。スピーチの後、和太鼓グループ太鼓小僧と豆桜による和太鼓演奏、受賞者発表表彰式、そして審査委員からのコメントをもって大会は終わりました。

観覧者の方からは来日4カ月の方がここまで日本語を話せるものかという感動と、日本の生活、習慣に対してそういう見方があるのかという発見を頂きました。また伝えたいという気持ちとまっすぐな言葉に温かい気持ちになれましたという声も聞かれました。今まで参加されてない方も来年は観覧されてはいかがでしょうか。(広報部 K)



太鼓小僧

豆桜

杉並区の3名の中学生とネパールの2名の小学生

最年少のネパールの小学生



### チョウ エツさん(中国)「お祭りから得た日本での感動」

いろいろな経験の中で最も印象に残っているのは留学生寮がある町内会のお祭りです。特に神社に一気に駆け込む神輿のシーンに感動しました。真夏の炎天下、汗をぬぐいながら頑張る姿と応援する人の熱気、「お祭りは人を奮い立たせる力になるな」と実感しました。また、お祭りの準備に町内会みんなが心血を注いでいるのでしょう。お祭りは地域の絆づくりに大変意義があると思います。日本にいる間この祭りをずっと体験したいです。私の故郷でもお正月に「竜踊り」というお祭りがありますが今は行われていません。帰国したら日本のお祭りの良さを伝え故郷の祭りの復興と絆づくりに貢献したいと思っています。



### エリザベス スターリーさん(アメリカ)

#### 「新しい日本語をつくりませんか？」

友達が私に「いただきます」とか「いってきます」は英語で何というか聞きますが、答えが難しいです。その言葉が英語にないんです。逆にアメリカでは誰かがくしゃみをしたら Bless you と言いますが、日本語で何と言ったらいいでしょう。お大事に？神様が守ってくれますように??ちょっと重すぎます。もし Bless you の意味の新しい日本語ができれば、そして、これを言葉にしたらみんながもっと温かい感じになると思います。



### ブイチク アンナ ソフィアさん(ポーランド)

#### 「来日以来、私が受けたカルチャーショック」

日本に来て、相手を思いやる言葉と態度はとても気持ちよく感じます。たとえば電話をする時には朝の電話は「朝早くから」勤務時間帯には「お忙しい時間に」と言います。また切る時にも「お時間を割いて下さり」「これからも」と言います。またスーパーで商品の質問をするとその場所を一緒に探してくれその商品の産地まで教えてくれます。ホスピタリティの高さと感動を与えてくれる日本人々と友達大好きです。



### チャン ヴー ハーミンさん(ベトナム)

#### 「鉄道員の娘が語りたいこと」

私は東急電鉄の社員であざみ野駅で駅員研修を経験しました。私たち駅員の幸せは一日トラブルが起らず日々が普通に過ぎること、人生は何事もない日常が最高の幸せだとわかりました。また日本では電車は単純な乗り物ではなく、多くの人生の感情をこめて魂を持っていることも理解しました。今はこの経験を宝に人生の次のステーションに向かっていきます。



### コベニさん(中国)

#### 「日本での生活」

日本の学校ではたくさんの方の行事があります。私が一番印象に残っているのは教材会社での職場体験です。最初に驚いたことはみんなが真剣に忙しそうに働いていたことです。この体験のおかげで教科書を大切にしようという心がけました。また学校生活ももっと真剣に過ごしたいと思いました。将来は日本と中国の間で働きたいです。普通の勉強だけでなく日本語も人一倍努力していきたいです。



# 「冬の北塩原村体感ツアー」に参加して!

杉並区の交流自治体である福島県北塩原村への掲題体感ツアーが、今年も区内の20歳代の若者10名が参加して2月21(金)~23日(日)の2泊3日で開催され、多感な若者たちが都会では味わえない体験やボランティア活動を行うことで、各々が何かを感じることができた有意義なツアーとなりました。参加者の中島さんから感想文をご寄稿いただきましたので掲載します。

### 福島、北塩原に立つ。 中島 なつき(大学2年)

私は今回、このツアーで福島の地に初めて訪れました。震災直後のボランティア・ラッシュの中に参加できなかった罪悪感もあり、いまさら行って何ができるのだろうかと不安に思っていました。しかし2泊3日の短い活動は、一言でいうと大変濃いというものでした。多くのことを学ばせてもらいましたが、その中から私の考えを一番に変えたことを書きたいと思います。

初日に福島に到着してまず食べたものは山塩ラーメンでした。山塩とは、普段私達が口にするような海から精製された塩ではなく、喜多方から裏磐梯に向かう入口にある大塩裏磐梯温泉で、手作業によってつくられているとても貴重な塩のことです。それを贅沢に使ったラーメンは、綺麗に透き通ったスープで、口の中で優しい山塩の風味を感じられるとても美味しいラーメンでした。正直な感想、このラーメンでここ福島を訪れて良かった、また来たいと思えました。

腹ごしらえを終えた後に行ったのは、高齢者で一人暮らしのお家の除雪作業のボランティアでした。私が住んでいる東京都八王子市でも今年はかなり雪が降り、雪かきを何回かしてきたので余裕かと思っていました。ですが間違っていました。規模が違います。ボランティアに協力して下さった方々は「窓にかかっている雪をどかして、部屋に光がはいるようにしてほしい。」というものでした。聞いた瞬間、楽勝、見た瞬間、愕然。



ツアー関係者を含む参加者達(筆者は後列左から4人目)

かるく私の身長を超える雪の中に家が建っており、しかも除雪してほしいのは二階の窓付近。しかしそれでもやり始めるとこれは中々楽しくて、あっという間に時間に。結果はまあまあ、埋まっていた窓の姿を見ることはできた…くらいのものでした。ですが、東京とは全く違う雪の姿に他のメンバーも大興奮、東京にいたころには想像もできなかった楽しさを感じる事ができました。

雪かきの後は、ボランティアをさせていただいた方のお邪魔させていただきました。私はここで初日ながら、最大の驚きを得ました。それは4mの雪にも負けないとてもしっかりとした足腰でわたし達を迎えてくださった齢九十のおばあちゃんでした。ばりばりの会津弁をしゃべり、立派な掘りごたつに私たちを入れてくれました。そこでお菓子を頂いた

り、とりとめのない話をしたりしながら、私はふと山塩ラーメンを思い出しました。ラーメンの中で優しい風味をしっかりとたたせているあの山塩の味が、おばあちゃんの凛々しい姿と重なって見えました。

いま福島は膨大な雪に覆われています。しかし、その中でもそびえ立つ沢山の木々と、その地にすんでいる人々は、しっかりと立っている。福島とその人々のその凄さは、自身が体感したからこそわかるものだとはじめて気がつきました。体験することの大切さを教えて下さり、また、私達の様々な体験を優しく見守って下さった福島県北塩原村の皆様、本当にありがとうございます。

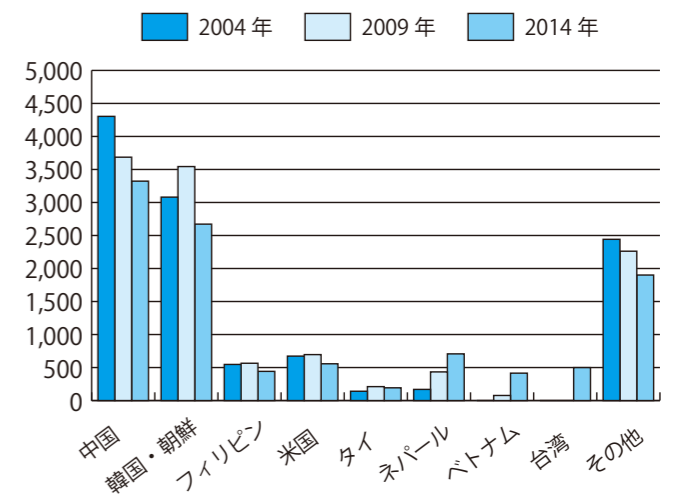
## 杉並区に暮らす外国人

2014年1月現在の杉並区の外国人登録者は10,709人(100カ国)です。グラフはこの10年間の推移をまとめたものです。杉並区に暮らす外国人には2つの特徴があります。

ひとつは、外国人登録者の多い国の順番が全国統計と異なっていることです。全国統計は、中国、韓国・朝鮮、フィリピン、ブラジルの順番ですが、杉並区では、中国、韓国・朝鮮、ネパール、米国の順番です。この4カ国で全体の68%(7,259人)を占めます。

もうひとつは、ネパール人とベトナム人の増加です。この5年間にベトナム人留学生が15倍に、ネパール人留学生が5倍に増えたことが影響していると思われます。昨年、阿佐ヶ谷駅の近くに全国初のネパール人学校が開校されましたが、学校開設に奔走したのも元留学生でした。ネパール人学校の子どもたちと杉並区の子どもたちとの交流が始まるなど、身近な交流も生まれています。(広報部 T)

### 杉並区の外国人登録者数の推移



注:台湾が2014年のみ表示されているのは、2012年から独自に集計されるようになったためです。全国統計では台湾の割合は1.4%ですが、杉並区では4.7%(499名)、国籍・地域別では第5位です。